

議事録

日 時	令和 7 年 11 月 14 日 (金) 10:00~11:30	
場 所	現場事務所 会議室	
議 題	令和 7 年度 第 2 回 河内長野市 UR 南花台団地集約跡地活用整備事業推進委員会	
出席者	推進委員	7 名
	事務局（河内長野市まちデザイン課）	5 名
	設計 JV(梓設計、現代ランドスケープ)	4 名
	施工者（村本建設）	1 名
資料等	【資料 1－1】第 1 回推進委員会表決結果 【資料 1－2】公園公衆トイレ計画について 【資料 2】 現場写真・工事工程表 【資料 3】 遊び場計画遊具置換え案 【資料 4】 1 回目色決め事項資料	
議 事	1. 開会 2. 案件 (1) 第 1 回推進委員会表決結果について確認。【資料 1-1】 · 書面開催した第 1 回推進委員会の表決結果について説明。 (2) 公園公衆トイレ計画について改めて内容を説明。内容は以下の通り。【資料 1-2】 · シンボリックな木屋根による公園の”あずまや”のようなトイレを計画。 · 外装については、第 1 回推進委員会表決結果により、左官風仕上げを採用。 · 公園公衆トイレの詳細な内外装プレゼンは、来年ご提案させていただく。 (3) 現場進捗状況と工事工程について説明。内容は以下の通り。【資料 2】 · 令和 7 年夏より着工時、現状では A ゾーン管理棟の基礎工事が一部を残して完了済み。おおむね工程通り進捗している。 (4) 遊び場計画遊具置換え案資料の内容を説明。内容は以下の通り。【資料 3】 · B ゾーンに複合遊具を設置してほしいという市民の方々の意見をもとに、近隣のこども園や幼稚園へどのような遊びを公園でしたいかアンケートを実施した。 · アンケートでは、「飛ぶ・撥ねる」遊びが人気であった。また様々な年代の子供が遊ぶことができつつ、見守りやすさに配慮してほしいという要望が多くあった。 · 再検討案では、B ゾーン南東側に芝生の丘を設け、眺望性を生かした立体的な遊びができる計画とした。また、「飛ぶ・撥ねる」遊びが可能なクッション遊具を設けた。さらに、木陰でくつろぐことができるよう、大きなクスノキとその足元に見守り用のベンチを計画した。 以下、推進委員会意見を記載 · B ゾーン東側の滑り台あたりはどのような計画か。 · 遊び場の丘の形状は、計画では南北方向に尾根があるが、園路の線形に併せて	

	<p>東西方向となるように調整いただきたい。全体的には、広場の中央から南東方向にのびやかに傾斜しているほうが望ましいと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クッション遊具を設置する地面が傾斜しているが、利用上の問題はないか。 ・ 木の下に設置しているベンチは、広場を見渡せるような位置に調整したほうがいいのではないか。 ・ 伝声遊具はクッション遊具を挟まないほうが、お互いが見合って遊ぶことができるのではないか。 ・ 登り遊具が多く密集している印象である。のびやかな丘形状を活かすような計画としてほしい。 ・ 住民の多くが高齢者であるため、健康遊具を計画してほしい。 <p>(JVより回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Bゾーン東側の滑り台あたりは、滑り台の南側から滑り台上部まで通路が伸び、子供が滑り台の上まで登れるような計画となっている。 ・ クッション遊具を設置する地面については、傾斜も緩やかな部分のため、利用上おおむね問題はないと考える。 ・ 健康遊具について、Aゾーンには健康遊具として使える遊具も設置している。また、園路の舗装に距離を明示し、ウォーキングを楽しむことができるような計画も検討している。 <p>(5) 1回目色決め事項資料について内容を説明。内容は以下の通り。【資料4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外観コンセプトである「にぎわいの丘と連続し、南花台の新たなシンボルとなるのびやかな大庇」をもとに、大庇の塗装色とその他外装材について提案。 ・ 大庇については、ダイナミックな庇を象徴的に見せつつ、自然になじむ色彩として、ベージュ系の色がよいと考える。 ・ その他外装材は、外壁材である金属サイディングをグレー系とし、サッシやルーバーはその色に合わせた色とすることで、周辺の縁や大庇が強調される落ち着いた色彩が良いと考える。 ・ 管理棟前の舗装については、法的に敷設が必須となる誘導ブロックを黄色とすると、景観的に目立ちすぎてしまう恐れがあるため、誘導ブロックは黒色か茶色とし、舗装色は誘導ブロックと輝度比が確保できるライトグレーが望ましいと考える。 <p>以下、推進委員会意見を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誘導ブロックの色について、黒色や茶色はベビーカー利用や車いす利用においても支障はないか。 ・ 黒色や茶色の誘導ブロックは近年他の施設でも利用されているのか。 ・ 舗装はデザインの使い分け等はしないのか。 ・ パースで表示されているポラードの色は今後選定できるのか。 ・ 明るめの色の舗装は熱などの影響はないか。 ・ 管理棟の外壁について、実際に太陽光が当たると、グレー色は明るく見えるため、庇がデザインとして象徴的に見えないのではないか。 ・ 庇の色についてはベージュに加え、白も魅力的だと感じた。
--	--

	<p>(JV より回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 黄色以外の誘導ブロックは輝度比が確保できるような計画とすれば、容易に識別できるためベビーカー等の通行に支障はない。また近年ではほかの施設でも一般的に用いている。・ 舗装デザインは、ライトグレーの中で、3種類程度のテクスチャー等を使い分ける想定である。・ ボラードの色は今後選定できるため、次回以降で提示する。・ 明るめの舗装は熱の問題はない。明るすぎる色だと太陽光の照り返し等の懸念があるが、ライトグレー程度であれば問題ないと考える。・ 管理棟外壁については、グレーだと仰る通り光の反射も大きいため、外壁はブラックで進める。また庇の色は外壁の黒色とのバランスも鑑みながら、本日の意見を踏まえて決定する。 <p>3. 閉会</p>
--	---

以上